



会長 菅原 慶一
幹事 小野寺 伸浩
会報 高田 次雄 村上 武彦
 森田 峯男
例会場 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327
例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
事務所 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

第2674回例会 2018. 12. 13 No.23

本日の出席率

・本日の出席率 100%

ニコニコボックス

- ・白鳥淳米山記念奨学会委員長様より
本日はよろしくお願ひ致します。
- ・菅原慶一会長 地区米山記念奨学会委員長、白鳥淳様を歓迎いたします。
- ・佐々木源悦会員 地区米山委員長・白鳥淳様をゲストスピーカーとしてお招きしております。よろしくお願ひ致します。
- ・布施孝之会員 ゲストスピーカー、築館クラブの白鳥淳さんを歓迎して。
- ・村上武彦会員 ゲストスピーカー白鳥淳様のスピーチに期待して。
- ・江川元徳会員 四つのテストの3番目「好意と友情、築館RCの白鳥淳会員を歓迎します。
- ・飯塚仁哉会員 今年のラストスピーカー、佐々木源悦会員のお話、心して聞きますよ。
- ・八谷郁夫会員 地区米山記念奨学会、白鳥淳委員長よろしくお願ひ致します。
- ・佐藤敬喜委員 築館RC・白鳥淳さんをお迎えして。
- ・菅野幸一郎会員 今年最後の佐々木源悦会員のスピーチに大いに期待致しています。
- ・高田次雄会員 我が家の日捲りカレンダー、師走に入り一気に瘦せ細りました。だが新年早々リバウンド確実です。米山記念奨学会委員会、白鳥淳委員長さんの講話、勉強させて下さい。
- ・佐藤静市会員 佐々木源悦会員のスピーチ担当、ゲストスピーカーを歓迎します。
- ・猪股育夫会員 佐々木源悦米山記念奨学会委員長のゲストスピーカー白鳥淳様を歓迎いたします。
- ・山田正会員 源ちゃんのスピーチ、期待します！
- ・佐々木崇会員以下 ゲストスピーカーを歓迎して。
山田直志会員 遠藤光則会員 岩瀬正彦会員
熊谷敏明会員 高橋利光会員 布施孝尚会員

武川毅会員 及川昭宏会員 杉田広仁会員
 佐藤早智子会員 大畑好司会員 千葉正宏会員
 伊藤幸子会員 二階堂恭子会員 後藤和人会員
 及川長五郎会員
 以上、ありがとうございました。

会長要件 菅原慶一会長

最初に、本日のゲストスピーカー第2520地区米山記念奨学会委員会の白鳥淳委員長を歓迎いたします。宜しくお願いいたします。

先週行われました次年度の理事選挙の結果報告を申し上げます。同票数の方がいらっしゃいましたので、理事会で協議しました結果、同票数の方にはそのまま理事となって頑張ってくださいとなりました。理事者は7名ということになりました。布施孝尚会員、加藤亮会員、大畑好司会員、佐藤早智子会員、太田陽平会員、佐々木淳会員、伊藤幸子会員の7名の皆さんです。第56代山田正会長のもと宜しくお願い致します。

12月9日(日)には、2520地区鈴木賢ガバナーエレクトの国際協議会出席、他2名のパストガバナーの壮行会が仙台で催され、八谷郁夫パストガバナー、山田正副会長と3名で出席してまいりました。次年度に向けた活動がいよいよ始まってきたという感じがしました。

先週の例会終了後理事会が行われました。週報にも掲載いたしますが、内容は理事選の結果について、新年例会について、台湾西門RC42周年式典参加について、国際大会参加について、ガバナー月信特集コーナー「おらほのレジェンド&ホープ」投稿についてといったところです。「おらほのレジェンド」は、今日は出席されていませんが、鈴木彦太会員について小野寺伸浩幹事がまとめます。他に会計の中間状況報告も行われ、特段の問題もなく、順調な会計状況ということでした。

来週は、平成最後の「佐沼ロータリークラブ・クリスマス家族例会」です。加藤亮委員長他、親睦活動委員の皆さんが、チャリティオークションを行う布施孝

尚委員長他、社会奉仕委員会の皆さんと共に、参加していただく会員及びご家族が楽しいと感じられる内容にすべく検討を重ねております。なるべく多くの会員・家族が出席されるよう期待します。

幹事報告 武川毅副幹事

- ・ガバナーエレクト事務所より
ガバナーエレクト事務所及び次年度ガバナー事務所よりの支払い方法変更について
地区の行事に関わる交通費等の現金支払いを、2019年1月以降、振込での対応に変更。
- ・2017-18年度ガバナーより
第2520地区2017-18年度・年次報告書が届く。
- ・台北西門RCより、新年のカードが届く。
- ・伊丹有明RCより、会報が届く。

各委員会報告

- ・**姉妹クラブ委員会** (熊谷敏明委員長)
3月10日から予定しております、台北西門RCの42周年記念式典参加に関する調査を行っております。ご記入をお願いします。
台北西門RCに送りますクリスマスカードにご記入をお願いします。
- ・**交換留学生特別委員会** (高橋利光委員長)
クリスマス例会に、留学生のテイラーさんとホストファミリーの佐々木さん、娘さんをご招待いたします。テイラーさんは、日本語をゆっくり話すことと理解できるようにになりましたので、ゆっくりと話しかけ歓談をしていただきたいと思います。
- ・**ロータリー財団委員会** (佐藤敬喜委員長)
理事会で、会費より一人当たり2,000円を財団に寄付(ポリオプラス)することに決まりました。皆様から預かりました寄付金と一緒に送金いたします。ご協力ありがとうございました。

今週のスピーチ (担当: 佐々木源悦会員)

「ロータリー米山記念奨学会について」
地区米山記念奨学会委員長
白鳥 淳様 (築館RC)

ロータリー米山記念奨学会事業とは、日本のロータリーが作った独自の事業で、34地区、全地区が参加する合同プロジェクトです。

この事業の最大の特長は「世話クラブ・カウンセラー制度」です。銀行振込が多い他の奨学金と違って、米山奨学生にはロータリー活動に共に参加してもらい、交流することを大切にしています。

終戦翌年の1946年、日本のロータリーの父、米山梅吉が亡くなりました。3年後の1949年、戦争のため

解散を余儀なくされた日本のロータリーが、国際ロータリーへ復帰します。そして1952年、東京RCの吉沢文作会長が「米山基金」の構想を発表しました。これは、アジアから優秀な学生を招いて学費を援助し、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために「平和日本」を肌で感じてもらいたい、というものでした。こうして、東京RCが始めた「米山基金」は、わずか5年で日本の全ロータリークラブの共同事業として継承され、1967年には財団法人ロータリー米山記念奨学会が設立されました。昨年2017年7月には、財団設立50周年を迎え、今年2018年2月には記念式典が開かれ、ロータリアン、学友、奨学生など約700人が参加しました。

米山は日本のロータリー独自の奉仕事業として作られ、発展してきました。このため、ロータリーの活動ではあるものの、国際ロータリーとは一線を画す状況が自ずと続いていました。そうした関係が次第に変化してきたのは2004年頃からです。

2004年のRI理事会で「奨学金の授与を通し、世界理解と平和に貢献されている財団法人ロータリー米山記念奨学会を称賛する」とされ、これ以降、ロータリー米山記念奨学会が「多地区合同奉仕活動」(現在は多地区合同活動)の手続きを取ることで、ロータリーの名称やロータリーマークを今後も続けて使用することを認める、ということが決議されました。2007年には全34地区からの同意を得て、国際ロータリーの定める多地区合同奉仕活動として、すべての手続きを完了しました。そして、2014年1月のRI理事会では、ロータリー学友の定義が拡大され、米山学友もまた、ロータリー学友の一員となりました。

米山は、外国人留学生を対象とする民間の奨学金では国内最大の規模です。2018年度は日本全国で852人が採用され、現在、各ロータリークラブでお世話をいただいております。累計では世界127の国と地域から2万396人を支援しています。

詳しいことは米山豆辞典をご参照下さい。



ゲストスピーカー白鳥淳様を囲んで

第6回理事会議事録 (12月6日木分)

協議事項

- (1)及川長五郎会員の職業分類 「教育機関」に決定
- (2)国際大会登録について
第一次締切りの登録料の半額を会員分のみ負担。
- (3)月信特集コーナー「おらほのレジェンド&ホープ」投稿に関して、鈴木彦太会員をレジェンドとする。記事は小野寺伸浩幹事が書く。
- (4)予算化している財団への寄付一人当り2,000円は、個人のポリオプラス分とする。
- (5)次年度理事については、投票結果を参考にし、会長・次年度会長が決定する。

次年度理事決定

布施孝尚会員 加藤亮会員 大畑好司会員 佐藤早智子会員 太田陽平会員 佐々木淳会員 伊藤幸子会員